

令和 2 年 度
第 2 回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

期 日 令和 2 年 1 1 月 1 3 日 (金)
時 間 午後 1 時 3 0 分 ~ 3 時 3 0 分
場 所 鶴岡市総合保健福祉センター
 にこふる 3 階 大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 説明・報告・協議

全体テーマ 「市民の地域医療への理解と普及」

～ 市民への積極的な情報発信と医療ニーズの把握 ～

(1) 講 話

「鶴岡市の医療資源について」

瀬尾医療連携事務所 代表取締役 瀬尾 利加子 氏

(2) 協 議

① 地域医療について市民周知や広報の手法を考える

② 地域医療に関するアンケートやデータ収集を実施するには

(3) そ の 他 次回、市民委員会のテーマの検討

4 そ の 他

5 閉 会

令和2年度 第2回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会 名簿

(敬称略)

NO	組織等	役職	氏名	備考
1	からだ館 にこにこ倶楽部		キタカゼ スミ 北風 寸美	
2	元鶴岡市私立幼稚園・認定こども園連合会保護者会		キムラ ヒロユキ 木村 博之	欠席
3	元鶴岡市立荘内病院 ボランティア		サウ アケミ 佐藤 明美	
4	鶴岡市公立保育園保護者会連絡協議会	会長	サウ カズヒロ 佐藤 和広	
5	株式会社 瀬尾医療連携事務所	代表取締役	セオ リカ 瀬尾 利加子	委員長
6	朝日地域保健委員会	副会長	ツチダ ミカ 土田 三香子	
7	関根いきいき体操講座	代表	ハラダ ヒロシロウ 原田 藤四郎	
8	もみじが丘	施設長	ホンマ ショコ 本間 志保子	副委員長
9	山形県看護協会		ホンマ ユウ子 本間 優子	
10	つるおかオレンジサポートの会	代表	マシマ マサヒロ 真島 正博	
11	鶴岡市介護保険事業者連絡協議会 居宅支援事業者部会	幹事	ミズグチ ヒロシ 水口 英俊	

コーディネーター

慶応義塾大学 環境情報学部	教授	アキヤマ ミキ 秋山 美紀	オンライン参加
---------------	----	---------------	---------

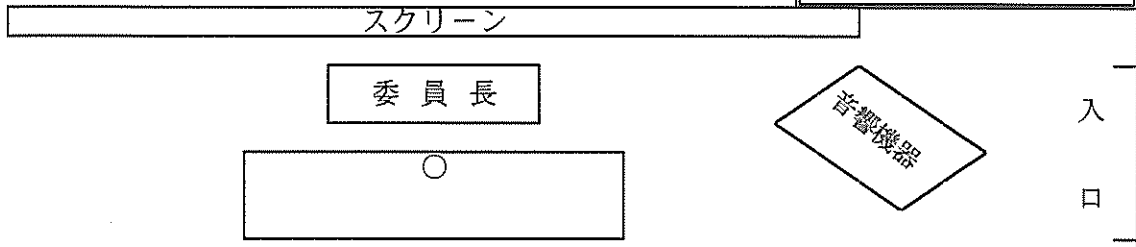
オブザーバー

鶴岡地区医師会	会長	フクハラ アキコ 福原 晶子	
鶴岡地区歯科医師会	副会長	ムツダ ケン 迎田 健	代理出席
鶴岡地区薬剤師会	会長	スズキ テハル 鈴木 千晴	
鶴岡市立荘内病院	病院事業管理者	ミナ タケン 三科 武	
鶴岡市立荘内病院	院長	スズキ サトシ 鈴木 聡	

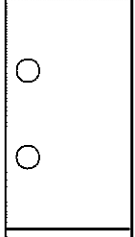
鶴岡市	市長	ミカワ オサム 皆川 治	欠席
-----	----	--------------	----

第2回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会 座席表

日時: 令和2年11月13日(金)
13:30~15:30
場所: 鶴岡市総合保健福祉センターにこふる3階大会議

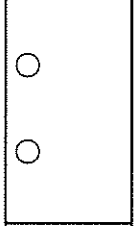


北風 寸美
委員



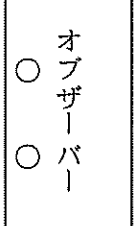
佐藤 明美
委員

佐藤 和広
委員



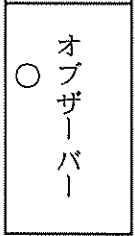
土田 三香子
委員

福原 晶子
鶴岡地区医師会会長

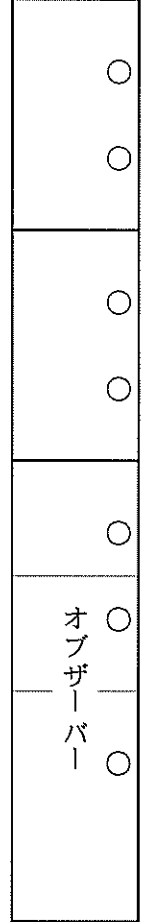


迎田 健
鶴岡地区歯科医師会副会長

鈴木 千晴
鶴岡地区薬剤師会会長



zoom
ビデオカメラ



原田 藤四郎
委員

本間 志保子
委員

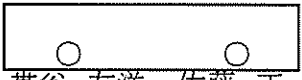
本間 優子
委員

真島 正博
委員

水口 英俊
委員

三科 武
荘内病院事業管理者

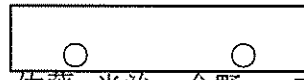
鈴木 聡
荘内病院院長



帯谷 友洋 佐藤 正
調推括地 調推括地
整進ケ城 整進ケ城
門員 専室ア包



佐藤 清一 渡邊 健
ケ地 社健
室ア推包 長福
長推進括



佐藤 光治 今野 一夫
院 荘
部 務
長 務
務 院



土田 信一
医 監
務 務
主 長
幹 務
長 務
務 院



東海林志保 三浦 巧
保推括地 主推括地
健進ケ城 進進ケ城
師室ア包 室ア包

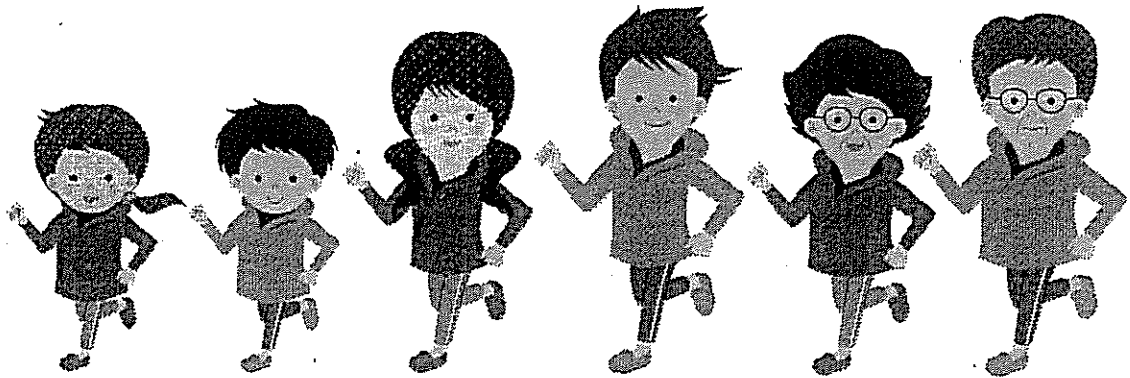
報道関係者席

傍聴席

入
口

入
口

ノート コロナ NO!te



まわりのみんなも幸せに…
今だからできること。



自分の行動をふり返るにも、受診する必要が出てきたときにも、この記録はきっと役に立ちます。
 今できることをコツコツ積み重ねていく“コロナ対策”はじめてみませんか？

氏名 (才)

住所

電話番号

携帯電話

勤務先・学校

病歴・服薬

家族構成

ノートの記入のしかた

4月15日(水)

					朝	昼	夕	寝る前	
					体温	36.3	36.2	36.5	36.3
咳	ノドの痛み	息切れ	倦怠感	におい味	解熱剤の服用	マスク着用	勤務		
×	×	×	×	○	×	○	内勤 外勤		
3密(密閉、密集、密接)の状況があったか					ある・ なし				
メモ(体調で気づいたこと、出かけた場所・時間・会った人など)									
昨日より背中のコリが強い									
●●スーパーに買い物へ(17時)									
(どんな小さなことでも良いので記入)									

月 日 ()								体温			
								朝	昼	夕	寝る前
咳	ノドの痛み	息切れ	倦怠感	におい味	解熱剤の服用	マスク着用	勤務				
3密 (密閉、密集、密接) の状況があったか								ある・なし			
メモ (体調で気づいたこと、出かけた場所・時間・会った人など)											

月 日 ()								体温			
								朝	昼	夕	寝る前
咳	ノドの痛み	息切れ	倦怠感	におい味	解熱剤の服用	マスク着用	勤務				
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗					
3密 (密閉、密集、密接) の状況があったか								ある・なし			
メモ (体調で気づいたこと、出かけた場所・時間・会った人など)											

発熱などの症状があり 受診する場合のお願い



裏面の「受診相談
に関するお願い」も
お読みください。

インフルエンザが流行するこの時期、**発熱**等の
症状がある方は、

受診する前に、必ず電話でご相談ください。

●かかりつけ医※が いる

診療時間内に電話して下さい
症状や最近の行動などを伝え
受診について相談

- かかりつけ医を受診
- または、対応可能な医療機関
を紹介されます

●かかりつけ医が いない

山形県受診相談センター
に電話して下さい。
(0120-880006)
フリーダイヤル 24時間(無料)
土日祝日含む



対応可能な医療機関を紹介
されます

熱や咳などの症状が出たばかりの時は、検査をしても正確な結果が出ないこ
とがありますので、翌日の日中にご相談ください。

ただし、呼吸困難(息苦しさ)や、動けないくらいの強いだるさなどの症状がある
ときは、すみやかにご相談ください。

症状が重い、緊急性が高い場合などは、これまでどおり救急外来へ電話で相
談してから受診、救急車の要請などをお願いします。

【受診相談に関するお願い】

- ❖ 受診の相談はなるべく平日の日中にお願いします。
夜間や休日などの時間外の相談は
山形県受診相談センター 0120-880006
にご相談ください。

【受診のときのおお願い】

- ❖ 定期受診以外で医療機関にかかるときには、
必ず事前に電話をして医療機関の指示に従ってください。

【家族にうつさないために】

- ❖ 症状があり、自宅で療養する場合は、家族との接触を
少なくし、部屋の換気や消毒をこまめに行いましょう。

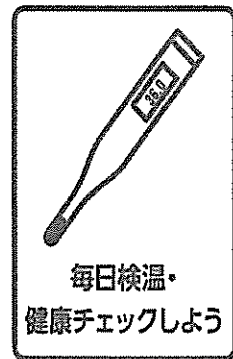
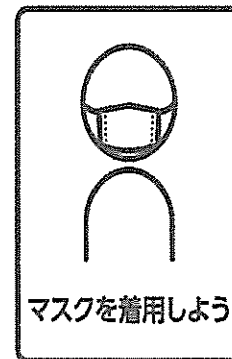
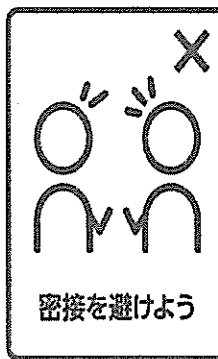
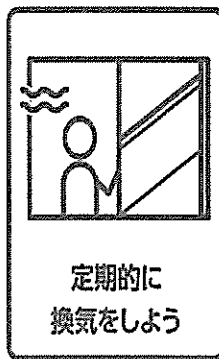
【一般相談について】

- ・ 新型コロナのわからないこと
- ・ 新型コロナへの不安
- ・ 予防方法など

● 山形県の一般相談センター
フリーダイヤル 0120-567383
8:30～18:00、土日祝日含む

● 厚生労働省の電話相談窓口
フリーダイヤル 0120-565653
9:00～21:00、土日祝日含む

感染症を予防しましょう！



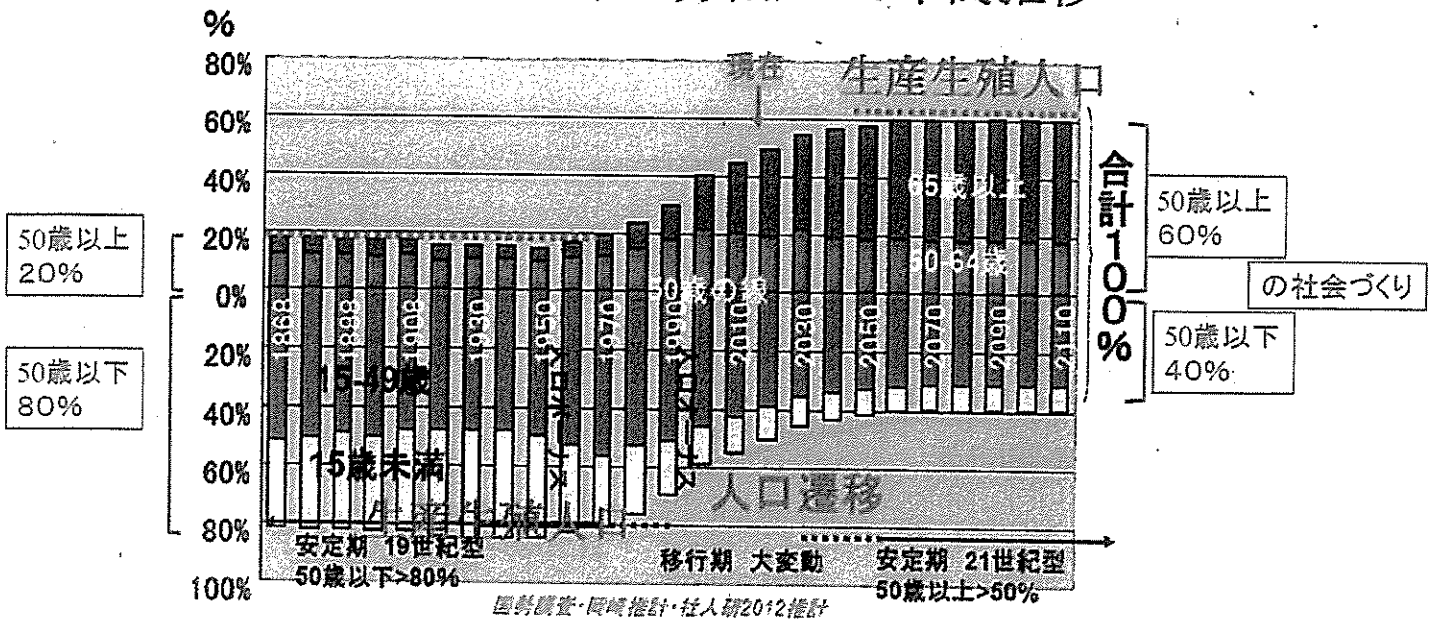
令和2年度 第2回

鶴岡市地域医療を考える市民委員会 ～鶴岡市の医療資源～

協力 鶴岡市地域包括ケア推進室・鶴岡地区医師会・各病院
瀬尾利加子（株式会社瀬尾医療連携事務代表取締役）

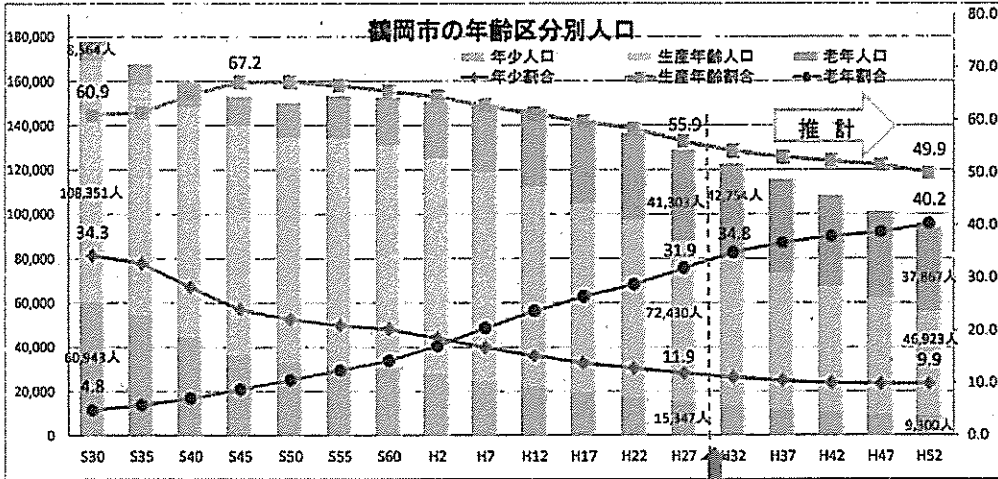
2020/11/13

人口遷移論 50歳で分割 240年間推移



1 人口 - (2)年齢区分別

- ・ 生産年齢人口(15-64歳)は、平成27年の約7万2千人から、平成52年には約4万7千人となり、25年間で約35%減少する見込み。
- ・ 老年人口(65歳以上)は、平成27年の約4万1千人から、平成52年の約4万2千人をピークとして、減少に転じることが見込まれるが、総人口に占める割合は上昇を続け、平成52年には40%を超える見込み。



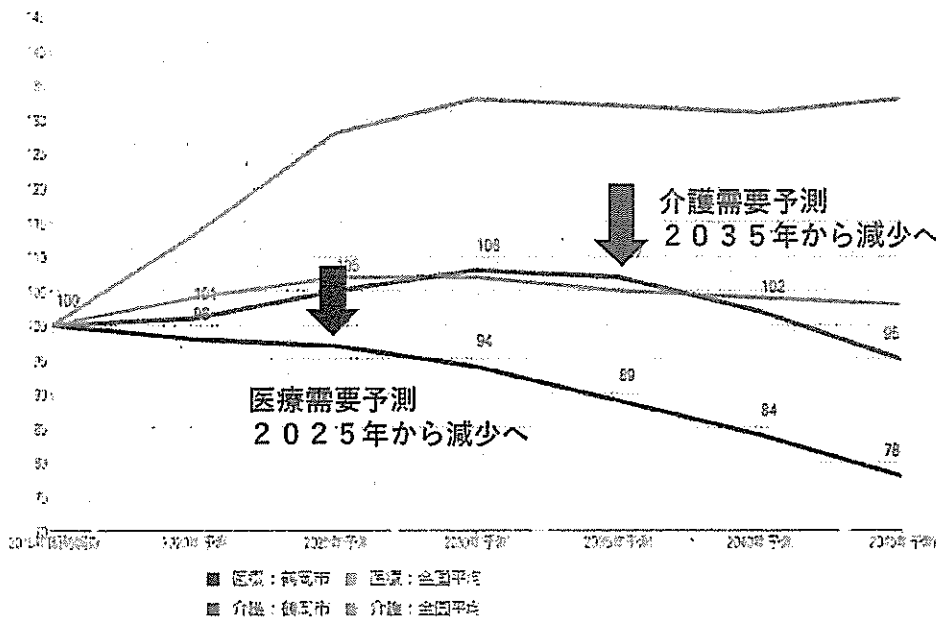
資料 国勢調査、平成32年以降は、平成22年国勢調査結果に基づく国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口(平成25年3月公表)

2020/11/13

2020年
老年人口のピーク予想
高齢化率は上昇を続ける

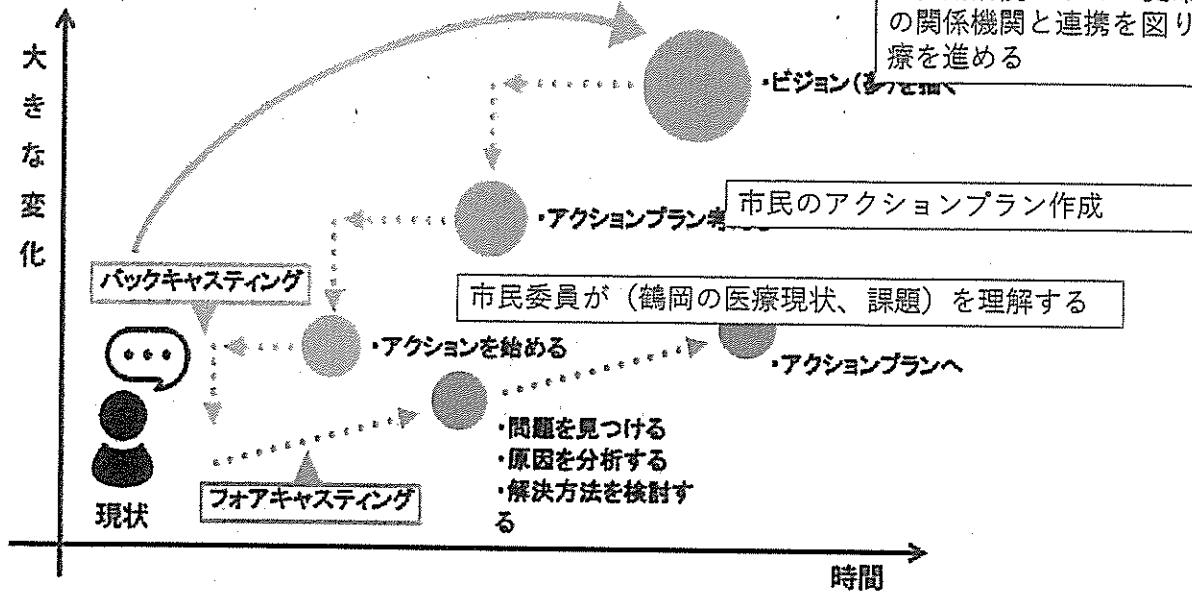
今後、鶴岡市に必要な病院機能と病床数

※ 医療介護需要予測推数 (2015年実績=100)



バックキャストの考え方

- 市民自身が自分の健康を守り、また地域医療を守り、そして医療機関と、心通い合う地域医療を実現する
- 地域の基幹病院である荘内病院が、急性期病院としての使命を果たし、他の関係機関と連携を図りながら地域医療を進める

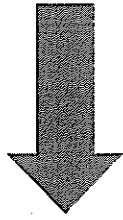


医療の機能分化

診療所と病院では役割が違う

～平成初期
病院完結型医療

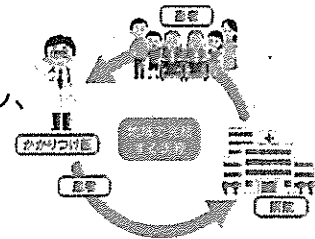
ゆりかごから墓場まで
 患者さんの病気・けがの治療を最後まで病院だけで行う医療



一つの医療機関で完結しない治療

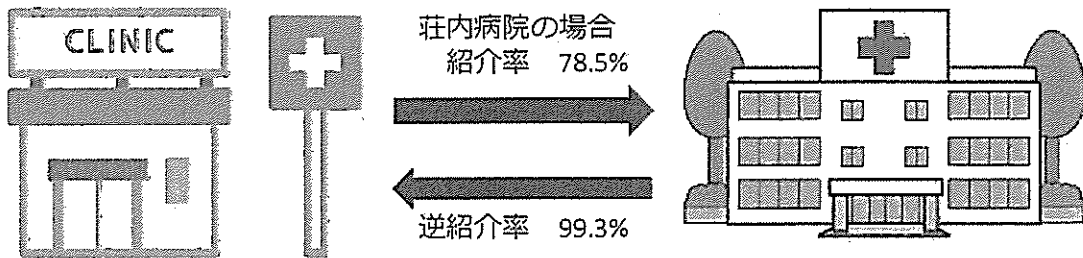
地域完結型医療

医療機関がそれぞれの得意分野を活かし、
 地域全体で完結する医療



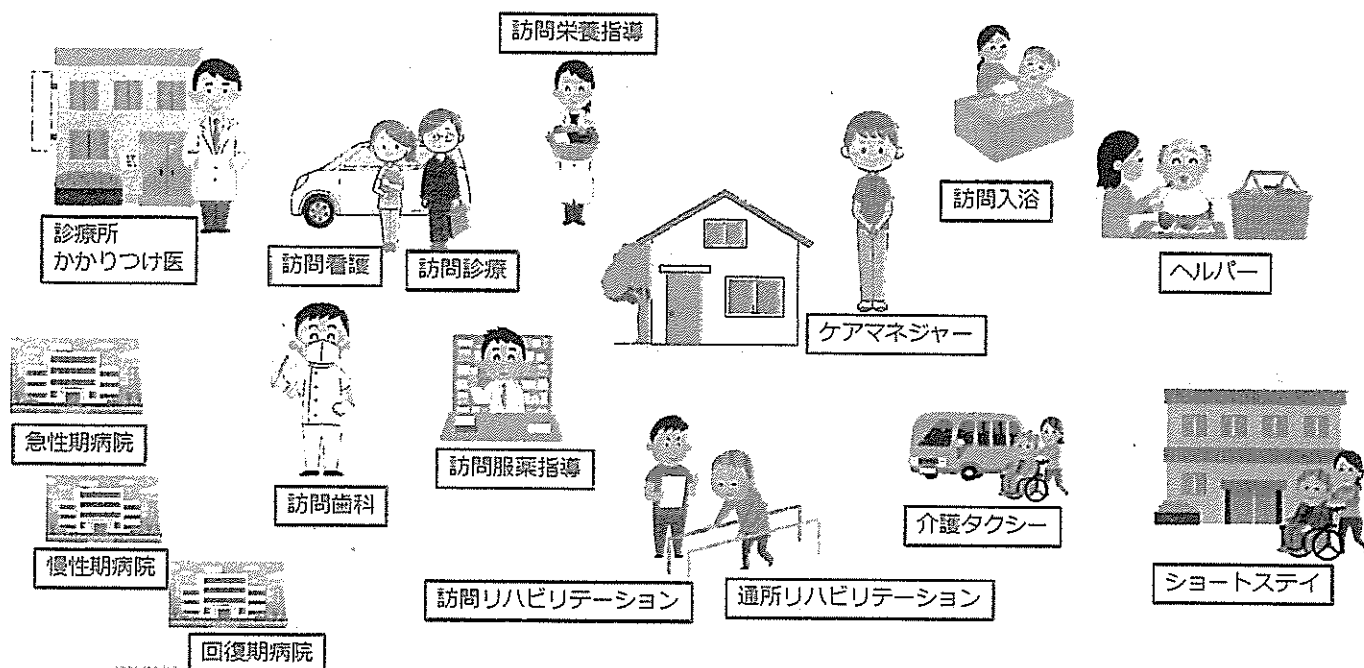
「クリニック」と「病院」の使い分け

誰もが適切な機関で適切な治療を受けられるようにするため



	クリニック（診療所）	病院
定義	<ul style="list-style-type: none"> 有床診療所（入院）病床数が1～19 無床診療所（入院）病床を持たない 歯科診療所 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の診療科と20以上の病床を持つ医療機関のこと
役割	<ul style="list-style-type: none"> 軽い病気やケガ 症状が落ち着いているが、引き続き治療が必要な病気・けがの治療（慢性期疾患） 	<ul style="list-style-type: none"> 突然発症し、短い経過で重症化する可能性のある診療 命にかかわる病気やケガ MRIやCTといった精密検査 手術など

在宅医療に関わる医療機関、介護事業所



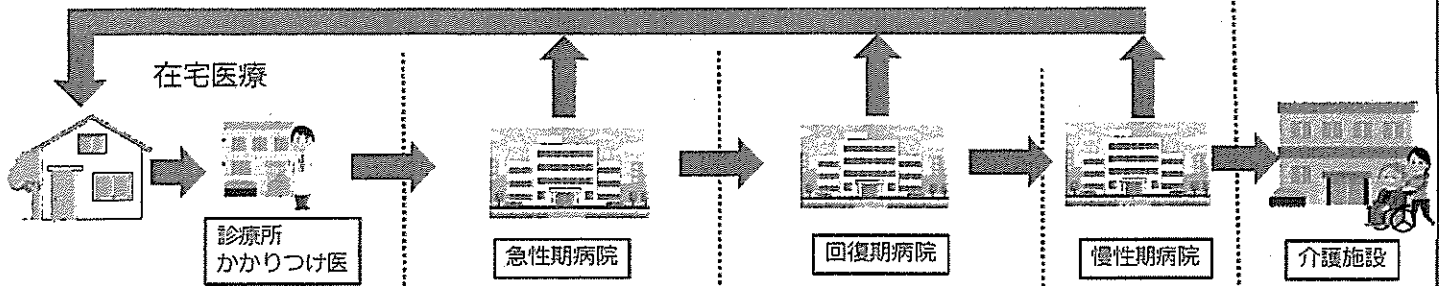
2020/11/13

病院の医療機能の名称と内容

名称	内容
高度急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、 <u>診療密度が特に高い医療を提供する機能</u>
急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）
慢性期機能	長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 長期にわたり療養が必要な重度な障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者などを入院させる機能

2020/11/13

基本的な入院・転院の流れ



診療所数の変化
鶴岡・三川

診療所数	診療所数
H27.10.1	109
H28.10.1	113
H29.10.1	113
H30.10.1	111
R2.3.31	111

	鶴岡市立荘内病院	鶴岡協立病院	鶴岡市立湯田川温泉 リハビリテーション病 院	鶴岡協立リハビリテ ーション病院
データの更新時	2020/2/21現在	2020/4/1現在	2020/4/1現在	2020/4/1現在
許可病床数	521床	199床	120床	156床
運用病床数		140床	120床	138床
常勤医師数	68人	7人	3人	4人
看護師数	462人	122人	61人	57人
平均在院日数	13.1日	21.8日	82.1日	104日

鶴岡協立病院
(病床199床) ⇒ 運用140床 59床

宮原病院 (一般病床 39床) ⇒R2/1/1~ みやはらクリニック (有床診療所 17床) 22床
斎藤胃腸病院 (一般病床45床 ・HCU25床) ⇒H22/6/3~斎藤胃腸クリニック (有床診療所 19床) ⇒R2/4/1~無床診療所 19床
慢性期 100床

庄内保健所 データでみる庄内地域の健康福祉環境参考

2020/11/13

<https://www.pref.yamagata.jp/ou/kenkofukushi/090001/imuchousei/byoinchiran/R020401byouinichiran.pdf>

鶴岡地区病院情報 (山形県医療機関情報ネットワークより)

R2.10.12 地域包括ケア推進室まとめ

	鶴岡市立荘内病院	鶴岡協立病院	鶴岡市立湯田川温泉 リハビリテーション病 院	鶴岡協立リハビリテ ーション病院	三井病院	山形県立こころの医 療センター
データの更新時	2020/2/21現在	2020/7/15現在	2019/11/8現在	2020/10/5現在	2019/11/12現在	2020/2/18現在
病床数	521床	199床	120床	156床	41床	214床
医師数	68人	17人	4人	5人	3人	14人
看護師数	462人	134人	60人	63人	21人	139人
1日平均外来患 者数	689人	267人	0.4人	47人	108人	137人
1日平均入院患 者数	425人	179人	107人	144人	15人	195人
平均在院日数	14.2日	20.7日	88.8日	99日	5.5日	117.4日

* 平均在院日数以外のデータは小数点以下切り捨て

2020/11/13

データの基準日 R2年4月1日現在 (年間の実績は令和元年度の1年間)

R2年10月鶴岡市地域包括ケア推進室調べ

	鶴岡市立荘内病院	鶴岡協立病院	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	鶴岡協立リハビリテーション病院	三井病院	山形県立こころの医療センター
許可病床数	521床	199床	120床	156床	41床	214床
稼働病床数	521床	140床	120床	138床	41床	213床
常勤医師数 (平均年齢)	62名 (44.3歳)	7名 (59.3歳)	3名 (66.3歳)	4名 (59.8歳)	2名 (51歳)	11名 (40.5歳)
非常勤医師数 (平均年齢)	3名 (57.0歳)	24名 (48.5歳)	7名 (52.4歳)	-	3名 (45歳)	1名 (40歳)
派遣医師	97名 (42.8歳)	-	-	-	-	-
研修医数 (平均年齢)	10名 (26.9歳)	-	-	1名 (30歳)	-	1名 (28歳)
正看護師数 (保健師、助産師含)	446名	90名	47名	45名	24名	137名
准看護師数	-	32名	14名	12名	7名	-
1日平均外来患者数	693.2人	267.6人	0.6人	47.5人	105.2人	139.4人
1日平均入院患者数	392.8人	177.8人	102.1人	144.7人	23人	193.6人
平均在院日数	13.1日	21.8日	82.1日	104.0日	6日	130.9日
病床利用率	76.9%	99.1%	85.1%	92.7%	56%	91.6%

2020/11/15

	鶴岡市立荘内病院		鶴岡協立病院		鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院		鶴岡協立リハビリテーション病院		三井病院		山形県立こころの医療センター	
	2019/2/29日現在	2020/4/1日現在	2020/2/15日現在	2020/4/1日現在	2019/11/30日現在	2020/4/1日現在	2019/10/5日現在	2020/4/1日現在	2019/11/12日現在	2020/4/1日現在	2020/2/15日現在	2020/4/1日現在
許可病床数	521床	521床	199床	199床	120床	120床	156床	156床	41床	41床	214床	214床
活用病床		521床		140床		120床		138床		41床		213床
医師数	68人	常勤62人 非常勤37人 研修医97人 計196人	17人	常勤7人 非常勤24人	4人	常勤3人 非常勤7人	5人	常勤4人 非常勤1人	3人	常勤2人 非常勤3人	14人	常勤11人 非常勤1人 研修医1人
常勤平均年齢		44.3歳		59.3歳		66.3歳		59.8歳		51歳		40.5歳
看護師数	462人	正看護師446人	134人	正看護師90人 准看護師32人	60人	正看護師47人 准看護師14人	63人	正看護師45人 准看護師12人	21人	正看護師24人 准看護師7人	139人	正看護師137人
1日平均外来患者数	669人	693.2人	267人	267.6人	0.4人	0.6人	47人	47.5人	105人	105.2人	137人	139.4人
1日平均入院患者数	425人	392.8人	179人	177.8人	107人	102.1人	144人	144.7人	15人	23人	195人	193.6人
平均在院日数	14.2日	13.1日	20.7日	21.8日	68.8日	62.1日	99日	104日	5.5日	6日	117.4日	130.9日
病床利用率	-	76.9%	-	99.1%	-	85.1%	-	92.7%	-	56%	-	91.6%

2020/11/15

参考：病院数の変化

R2.8.28 鶴岡市地域包括ケア推進室資料より

	病院数
H21年7月1日	9
H26年7月1日	8
R元年7月1日	8
R2年6月15日	7

H21年	
精神科：	県立こころの医療センター
精神科・内科	三川病院
急性期：	鶴岡市立荘内病院
急性期・慢性期：	鶴岡協立病院
慢性期：	齋藤胃腸病院
慢性期：	宮原病院
回復期：	湯田川温泉リハビリテーション病院
回復期：	鶴岡協立リハビリテーション病院
産婦人科・小児科	三井病院



R2年	
精神科：	県立こころの医療センター
精神科・内科	三川病院
急性期：	鶴岡市立荘内病院
急性期・慢性期：	鶴岡協立病院
慢性期：	齋藤胃腸病院⇨齋藤胃腸クリニックへ
慢性期：	宮原病院⇨みやはらクリニックへ
回復期：	湯田川温泉リハビリテーション病院
回復期：	鶴岡協立リハビリテーション病院
産婦人科・小児科	三井病院

2020/11/13

参考：近年、開閉院した診療所情報

R2.8.28 鶴岡市地域包括ケア推進室資料より

閉院H30/6～

診療科	診療所数
内科	3
精神科	2
小児科	2
計	7

開院 H27/6～

診療科	診療所数
内科	4
精神科	3
耳鼻咽喉科	1
皮膚科	1
計	9

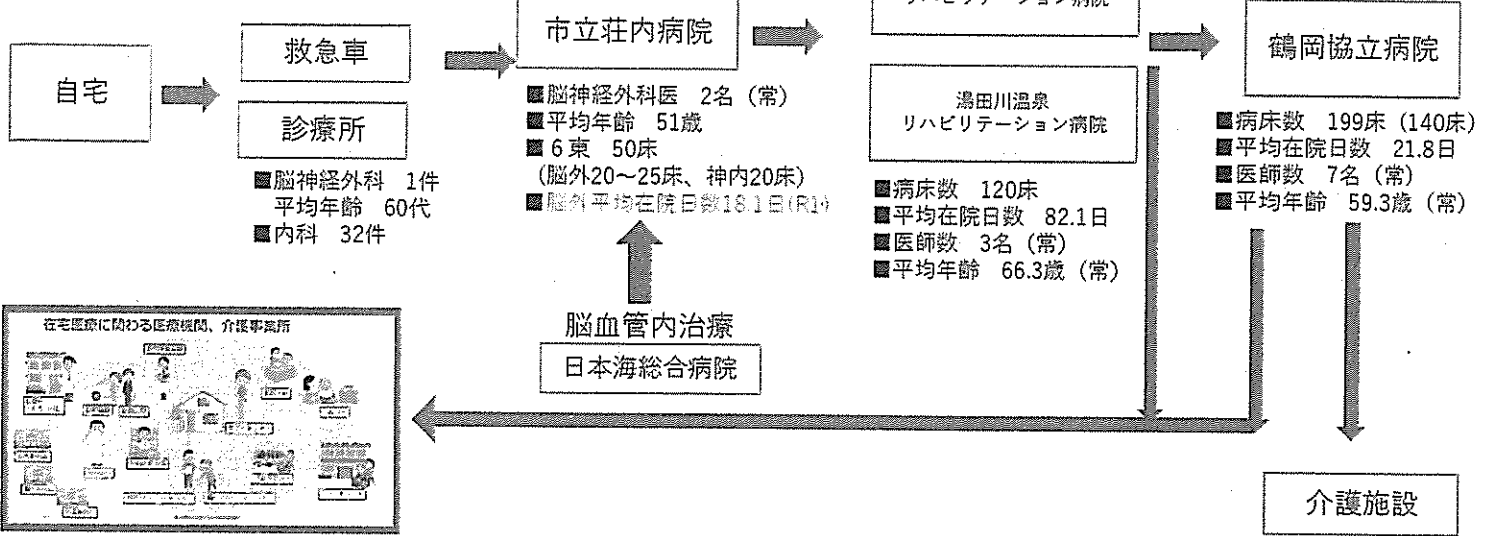
2020/11/13

脳疾患（基本的な地域医療連携）

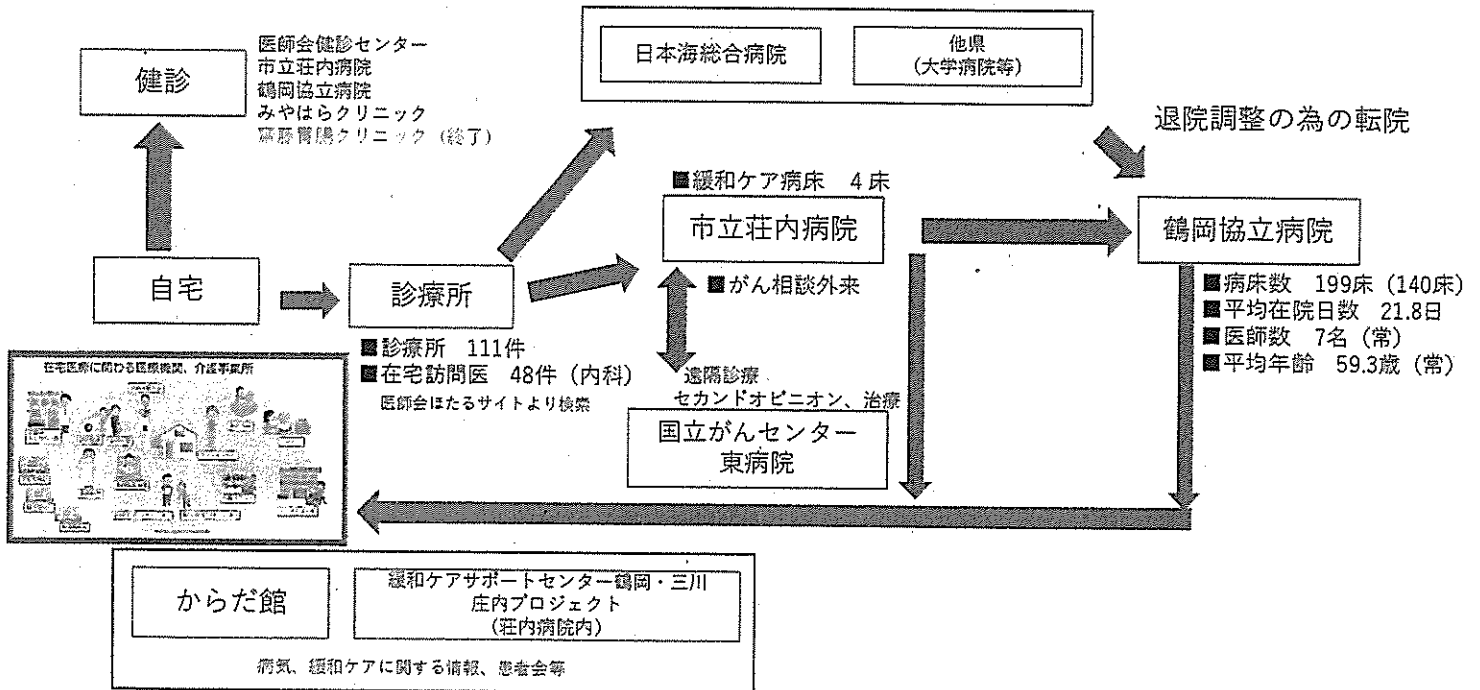
脳血管内手術件数～市内全域～ (2018)	件数	市内	市内割合
合計	14	923	7.1%
脳血管内手術（1カ所）	10	90.9%	9.1%
脳血管内手術 （血管内ステントを用いるもの）	3	100.0%	0.0%

■病床数 521床
■平均在院日数 14.2日
■医師数 62名（常）
■平均年齢 44.3歳（常）

■病床数 156床（138床）
■平均在院日数 104.0日
■医師数 4名（常）
■平均年齢 59.8歳（常）

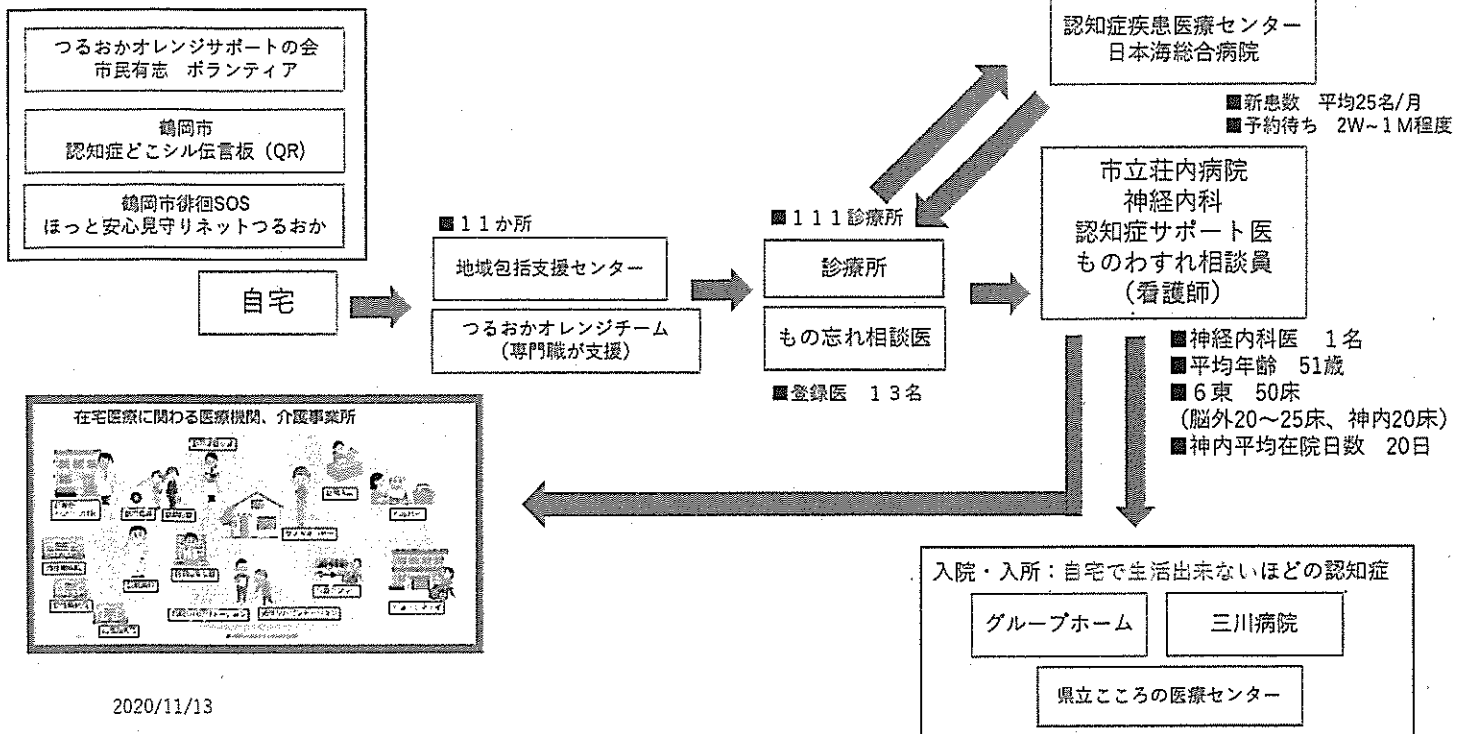


がん（基本的な地域医療連携）



認知症（基本的な地域医療連携）

南陽市 佐藤病院
新庄市 新庄明和病院
山形市 篠田総合病院



2020/11/13

参考：日本海総合病院 認知症疾患医療センター

○予約状況について

- ・ 現在、予約から初診日までの期間は2週間~1か月程
- ・ 一か月の「新患数」はおおよそ25名平均です。
- ・ 鑑別診断のためには通常2回以上受診いただくことが多い
- ・ その後の薬物調整なども含めると通院回数が複数回にわたる方も多くなる

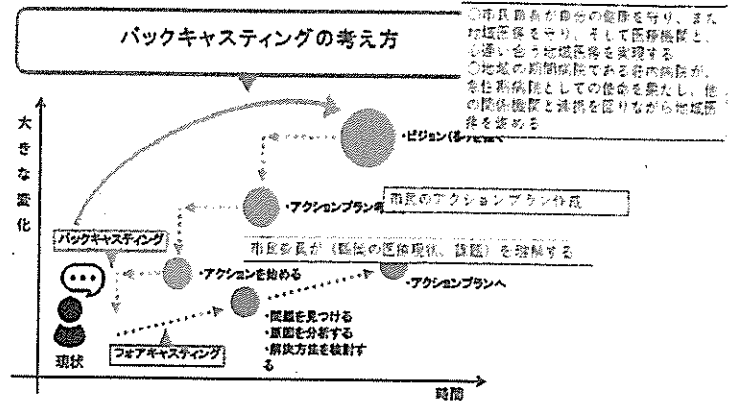
○逆紹介について

- ・ 当センターは鑑別診断後・薬物調整等治療方針決定後の逆紹介（紹介元への紹介）を基本
- ・ 若年性の方や特異な症状の方などは、当院へ定期通院となる場合がある
- ・ ほか、医師が必要と判断する場合、ご本人やご家族の希望などで逆紹介に加え、当センターで認知機能検査フォローのための予約となる方もおられる

2020/11/13

鶴岡市地域医療を考える市民委員（会）として 本日の協議

- ① 地域医療について市民周知
や広報の手法を考える
- ② 地域医療に関するアンケート
やデータ収集を実施する
には



2020/11/13

【75分】 グループワークの流れ

【5分】 担当したいテーマに分かれる（テーブル移動・配置）

※オブザーバーも分かれてグループに入る

- ① 市民周知・広報グループ
- ② アンケート・データ収集グループ

【45分】 グループで話し合い

■ 市民委員に考えてもらうこと

テーマの内容を**実行に移す具体的な方法**について

- ① いつ、だれが、だれに、なにを、どこで、どのように
- ② 市との役割分担

【25分】 全体共有・意見交換

※今後、地域医療市民アクションプランにも反映



2020/11/13

① 地域医療について市民周知や広報の手段を考えるために

資料4

来年度以降のアクションプラン策定に活かしましょう

メンバー委員名を記載ください

以下を参考に協議ください。

Who 誰が	Whom 誰に	What 何を
How どのように	① 目的 地域医療について市民周知や 広報の手段を考えるために	Why それはなぜ
When いつ	Where どこで	How much いくらで

< 市との役割分担 >

* この用紙は市民委員会終了後、回収させていただきます。

② 地域医療に関するアンケートやデータ収集を実施するためには 資料4

来年度以降のアクションプラン策定に活かしましょう

メンバー委員名を記載ください

以下を参考に協議ください。

Who 誰が	Whom 誰に	What 何を
How どのように	<p>② 目的</p> <p>地域医療に関するアンケート やデータ収集を実施するため には</p>	Why それはなぜ
When いつ	Where どこで	How much いくらで

< 市との役割分担 >

* この用紙は市民委員会終了後、回収させていただきます。

データの更新時	鶴岡市立荘内病院		鶴岡協立病院		鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院		鶴岡協立リハビリテーション病院		三井病院		山形県立こころの医療センター	
	※2020/2/21現在	2020/4/1現在	※2020/7/15現在	2020/4/1現在	※2019/11/8現在	2020/4/1現在	※2020/10/5現在	2020/4/1現在	※2019/11/12現在	2020/4/1現在	※2020/2/18現在	2020/4/1現在
許可病床数	521床	521床	199床	199床	120床	120床	156床	156床	41床	41床	214床	214床
運用病床		521床	—	140床	—	120床	—	138床	—	41床	—	213床
医師数	68人	常勤62人 非常勤3人 派遣97人 研修医10人	17人	常勤7人 非常勤24人	4人	常勤3人 非常勤7人	5人	常勤4人 研修医1人	3人	常勤2人 非常勤3人	14人	常勤11人 非常勤1人 研修医1人
常勤平均年齢	—	44.3歳	—	59.3歳	—	66.3歳	—	59.8歳	—	51歳	—	40.5歳
看護師数	462人	正看446人	134人	正看90人 准看32人	60人	正看47人 准看14人	63人	正看45人 准看12人	21人	正看24人 准看7人	139人	正看137人
1日平均外来患者数	689人	693.2人	267人	267.6人	0.4人	0.6人	47人	47.5人	108人	105.2人	137人	139.4人
1日平均入院患者数	425人	392.8人	179人	177.8人	107人	102.1人	144人	144.7人	15人	23人	195人	193.6人
平均在院日数	14.2日	20日	20.7日	21.8日	88.8日	82.1日	99日	104日	5.5日	6日	117.4日	130.9日
病床利用率		76.9%		99.1%		85.10%		92.7%		56.0%		91.60%

* 平均在院日数以外のデータは小数点以下切り捨て

※山形県医療機関情報ネットワークより 地域包括ケア推進室まとめ

2020/4/1データ各病院アンケート調査回答より

名称	対象	参加者	開催頻度	内容
1 定期協議会	荘内病院、鶴岡協立病院	病院長、看護部長、事務幹部	年2回	両病院間の連携強化、情報共有、意見交換
2 3病院会議	日本海総合病院、鶴岡協立病院、本間病院、(荘内病院)	病院長、看護部長、事務幹部	年3回	情報共有、意見交換
3 連携室の会 コロナで中止中	荘内病院連携室、鶴岡協立病院連携室	地域医療連携室スタッフ	月1回	転院に関する連携強化、関係づくり、情報共有、意見交換
4 庄内看護管理者ネットワーク協議会	庄内地域の病院看護管理者	看護管理者 保健所担当者	年3回+研修会	病院看護部長間関係づくり、情報交換
5 小児・周産期医療連携の会議	荘内病院、鶴岡協立病院、三井病院	病院長、看護部長、事務幹部、産婦人科医師、小児科医師、助産師		小児・周産期医療に関する意見交換
6 ケースカンファレンス	荘内病院、鶴岡協立病院	地域医療連携室及び病棟スタッフ	年1～2回	紹介患者のフィードバック

市民の皆さまへ

高梁市の地域医療に関するアンケート

《アンケートへのご協力をお願い》

平素より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
本調査は、市民の皆さまに高梁市の医療について普段感じられていることやご意見を伺い、高梁市の地域医療の検討に反映していくことを目的に実施するものです。

ご多忙のこととは存じますが、取り組みの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

《ご回答にあたってのお願い》

- ① ご回答が難しい設問については、空欄のまま進めてください。
- ② 本アンケートは無記名方式です。アンケート用紙等にお名前やご住所をご記入いただく必要はございません。

投函期限：平成29年 9月29日（金）

※返信用封筒を同封しています。（切手不要）

本アンケートについてのお問い合わせ先
高梁市役所 健康福祉部 医療連携課
〒716-8501
岡山県高梁市松原通2043
電話：0866-21-0304
Fax：0866-23-0655
メール：iryorenkei@city.takahashi.lg.jp

あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの年齢を教えてください。（1つに〇）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 |
| 4. 35～39歳 | 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |
| 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 | 9. 60～64歳 |
| 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75～79歳 |
| 13. 80歳以上 | | |

問2 あなたの性別を教えてください。（1つに〇）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。（1つに〇）

- | | | |
|-------|--------|--------|
| 1. 高梁 | 2. 高梁北 | 3. 高梁東 |
| 4. 有漢 | 5. 成羽 | 6. 川上 |
| 7. 備中 | | |

※ 高梁、高梁北、高梁東の地域区分は下記のとおりです。

- ・高 梁：旧高梁、松原町、落合町、玉川町、高倉町大瀬八長、高倉町田井（高山）
- ・高梁北：川面町、中井町、宇治町、高倉町田井（肉谷・高山除く）、高倉町飯部
- ・高梁東：津川町、巨瀬町、高倉町田井（肉谷）

問4 いまの地域には何年間お住まいでしょうか。（1つに〇）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| 5. 30年以上 | |

問5 いまお住まいの地域の前にはどの地域にお住まいでしたか。(1つに〇)

- | | | |
|-------------------|--------|--------|
| 1. 高梁 | 2. 高梁北 | 3. 高梁東 |
| 4. 有漢 | 5. 成羽 | 6. 川上 |
| 7. 備中 | 8. 市外 | 9. 県外 |
| 10. ずっと同じ地域に住んでいる | | |

問6 あなたを含めた世帯人数をご記入ください。

()人

問7 どなたと同居していますか。(当てはまるもの全てに〇)

- | |
|-----------------------|
| 1. 同居者はいない |
| 2. 配偶者またはそれに準ずる者 |
| 3. 子ども |
| 4. 孫 |
| 5. 介護が必要な、自分又は配偶者の親 |
| 6. 介護が不要な、自分又は配偶者の親 |
| 7. 介護が必要な、自分又は配偶者の祖父母 |
| 8. 介護が不要な、自分又は配偶者の祖父母 |
| 9. 兄弟・姉妹 |
| 10. その他() |

問8 どの医療保険に加入していますか。(1つに〇)

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 健康保険組合 | 2. 協会けんぽ | 3. 国民健康保険 |
| 4. 共済組合 | 5. 後期高齢者 | 6. わからない |

日常の病院受診についてお聞きします。

問9 入院以外の日常的な医療を受ける場所について、あなたの希望を教えてください。(1つに〇)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 自宅まで往診してほしい |
| 2. 住み慣れた地域で受診したい |
| 3. 市内の総合病院で受診したい |
| 4. 市外の高度な医療が期待できる医療機関で受診したい |
| 5. 実際の症状によってそのとき考える |
| 6. その他() |

問10 あなたは、最近1年間に一般外来(通常の診察時間内での診察)を受診しましたか。(1つに〇)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 受診した | 2. 受診しなかった |
|---------|------------|

7ページ
問18へ

問11 問10で「1」を選んだ方にお聞きします。
最近1年間で最もよく受診した診療科を教えてください。(1つに〇)

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| 1. 内科系 | 2. 外科系 | 3. 整形外科系 |
| 4. 産婦人科系 | 5. 耳鼻咽喉科系 | 6. 皮膚・泌尿器科系 |
| 7. 精神科系 | 8. その他() | |

次ページ
問12へ

問12 問10で「1」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間でどの地域の医療機関を最もよく利用しましたか。
(1つに〇)

- | | | |
|-------|---------------|--------|
| 1. 高梁 | 2. 高梁北 | 3. 高梁東 |
| 4. 宍漢 | 5. 成羽 | 6. 川上 |
| 7. 備中 | 8. 市外(市町村名:) | |

※ 高梁、高梁北、高梁東の地域区分は下記のとおりです。

- ・高梁: 旧高梁、松原町、落合町、玉川町、高倉町大瀬八長、高倉町田井(高山)
- ・高梁北: 川面町、中井町、宇治町、高倉町田井(肉谷・高山除く)、高倉町飯部
- ・高梁東: 津川町、巨瀬町、高倉町田井(肉谷)

問13 問10で「1」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、その医療機関を選んだ理由を教えてください。(3つまで〇)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 以前からよく知っている | 2. 評判が良いので |
| 3. 自宅に近いです | 4. 職場や学校に近いので |
| 5. 休日も対応してくれるので | 6. 早朝・夜間も対応してくれるので |
| 7. 総合病院なので | 8. かかりつけ医のいる機関なので |
| 9. 他に医療機関が無かったので | 10. なんとなく |
| 11. その他() | |

問14 問10で「1」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、その医療機関への交通手段を教えてください。(あてはまるもの全てに〇)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. セニアカー(電動カート) |
| 5. 自分で運転する自家用車 | 6. 家族等の運転する自家用車 |
| 7. 路線バス | 8. 生活福祉バス |
| 9. タクシー | 10. 乗合タクシー(ふれあいタクシー) |
| 11. JR | 12. その他() |

→ 次ページ
問15へ

問15 問10で「1」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、自宅又は職場のうち近い方からその医療機関への所要時間を教えてください。(1つに〇)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 10分未満 | 2. 10分以上30分未満 |
| 3. 30分以上1時間未満 | 4. 1時間以上 |

問16 問10で「1」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、満足している点を教えてください。(あてはまるもの全てに〇)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 交通の便 | 2. 診察日 |
| 3. 診察時間 | 4. 待ち時間 |
| 5. 医師の知識や技術 | 6. 医師の態度 |
| 7. 看護師の対応 | 8. 病気や治療に関する説明 |
| 9. 専門の医師や医療機関への紹介 | 10. セカンドオピニオンの受けやすさ |
| 11. 自宅まで往診してくれること | 12. その他() |

※セカンドオピニオン: 主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

問17 問10で「1」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、改善してほしい点を教えてください。(あてはまるもの全てに〇)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 交通の便 | 2. 診察日 |
| 3. 診察時間 | 4. 待ち時間 |
| 5. 医師の知識や技術 | 6. 医師の態度 |
| 7. 看護師の対応 | 8. 病気や治療に関する説明 |
| 9. 専門の医師や医療機関への紹介 | 10. セカンドオピニオンの受けやすさ |
| 11. 自宅での往診の実施 | 12. 特になし |
| 13. その他() | |

※セカンドオピニオン: 主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

→ 次ページ
問18へ

救急外来についてお聞きします。

問18 早朝・深夜や休日にあなたの具合が悪くなり、医者にかかりたい場合、どのように対応しますか。(1つに○)

1. 公共交通やタクシーを利用して救急医療機関へ向かう
2. 自家用車、自転車、徒歩等で、自分で救急医療機関へ向かう
3. 家族に車を運転してもらって救急医療機関へ向かう
4. かかりつけ医に連絡して指示に従う
5. 当番医へ連絡して指示に従う
6. 119番に電話して救急車を呼ぶ
7. 自治体の救急相談窓口(あんしん電話や#8000)に電話する
8. その他()

次ページ
問19へ

9ページ
問21へ

問19 問18で「1」「2」「3」のいずれかを選んだ方にお聞きします。どの医療機関へ行こうと思いますか。(1つに○)

1. 市内の医療機関 (医療機関名:)
2. 市外の医療機関 (医療機関名:)
3. いまは考えていないが、必要になれば調べる等して考える

次ページ
問21へ

問20 問19で「1」「2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。その医療機関を選んだ理由は何か。(3つまで○)

1. 自宅から近いので
2. 適切な検査・診療をしてもらえるので
3. 診療の待ち時間が短いので
4. 必要に応じて入院・手術等の高度な医療を受けられるので
5. 評判が良いので
6. 安心・信頼できるので
7. 以前受診したことがあるので
8. なんとなく
9. その他()

次ページ
問21へ

問26 問25で「1」「2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
その医療機関を選んだ理由は何ですか。(3つまで〇)

1. 自宅から近いので
2. 適切な検査・診療をしてもらえるので
3. 診療の待ち時間が短いので
4. 必要に応じて入院・手術等の高度な医療を受けられるので
5. 評判が良いので
6. 安心・信頼できるので
7. 以前受診したことがあるので
8. なんとなく
9. その他()

→ 本ページ
問27へ

問27 #8000(小児救急医療電話相談)をご存知ですか。(1つに〇)

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことは無い
3. 知らない

入院についてお聞きします。

問28 あなたは、最近1年間に入院しましたか。(1つに〇)

1. 入院した
2. 入院しなかった

↓
15ページ
問35へ

問29 問28で「1」を選んだ方にお聞きします。
最初にどの医療機関に入院しましたか。(1つに〇)

1. 高梁中央病院
2. 大杉病院
3. たいようの丘ホスピタル
4. 成羽病院
5. 倉敷市内の医療機関
6. 岡山市内の医療機関
7. その他

問30 問28で「1」を選んだ方にお聞きします。
最初に入院した医療機関を選んだ理由は何ですか。(3つまで〇)

1. 入院以前から通院していたので
2. 他医療機関から紹介されたので
3. 自宅が近いので
4. 身内の家が近いので
5. 勤務先・学校が近いので
6. 救急搬送先だったので
7. 医療技術の評判が良いので
8. 病院スタッフの対応が良いので
9. その他()

→ 次ページ
問31へ

問31 問28で「1」を選んだ方にお聞きします。

最初に入院した医療機関で満足した点は何ですか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 入院手続きのスムーズさ | 2. 入院の期間 |
| 3. 病気や治療についての説明 | 4. 医師の技術 |
| 5. 医師の態度 | 6. 看護師の技術 |
| 7. 看護師の態度 | 8. 専門の医師・医療機関との連携 |
| 9. セカンドオピニオンの受けやすさ | 10. 入院中の食事 |
| 11. 病室 | 12. 退院手続きのスムーズさ |
| 13. 退院後の生活や通院の支援 | 14. 特になかった |
| 15. その他 () | |

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

問32 問28で「1」を選んだ方にお聞きします。

最初に入院した医療機関で不満だった点は何ですか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 入院手続きのスムーズさ | 2. 入院の期間が長すぎた |
| 3. 入院の期間が短すぎた | 4. 病気や治療についての説明 |
| 5. 医師の技術 | 6. 医師の態度 |
| 7. 看護師の技術 | 8. 看護師の態度 |
| 9. 専門の医師・医療機関との連携 | 10. セカンドオピニオンの受けやすさ |
| 11. 入院中の食事 | 12. 病室 |
| 13. 退院手続きのスムーズさ | 14. 退院後の生活や通院の支援 |
| 15. 特になかった | 16. その他 () |

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

次ページ
問33へ

問33 問28で「1」を選んだ方にお聞きします。

自宅に戻るまでに転院をしましたか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 市内医療機関に入院し、その後市外医療機関に転院した |
| 2. 市内医療機関に入院し、市外医療機関に転院した後、再び市内医療機関に転院した |
| 3. 市外医療機関に入院し、その後市内医療機関に転院した |
| 4. 転院していない |

次ページ
問35へ

問34 問33で「1」「2」「3」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

転院した理由を教えてください。(3つまで○)

- | |
|---------------------|
| 1. 医療機関からすすめられたので |
| 2. 転院先が自宅に近いので |
| 3. 転院先が身内の家に近いので |
| 4. 転院先が勤務先・学校に近いので |
| 5. 転院先の医療技術の評判が良いので |
| 6. 転院先のスタッフの評判が良いので |
| 7. 転院先の食事の評判が良いので |
| 8. 転院先の病室の評判が良いので |
| 9. その他 () |

次ページ
問35へ

問35 救急救命や集中治療など、特に高度な治療が必要になった際には、
あなたはどの地域の医療機関に入院したいですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 市内の医療機関 | 2. 市外の医療機関 |
| 3. 実際の症状によってその時考える | 4. その他() |

問36 手術や投薬など、早期に症状を安定させる治療が必要になった際には、
あなたはどの地域の医療機関に入院したいですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 市内の医療機関 | 2. 市外の医療機関 |
| 3. 実際の症状によってその時考える | 4. その他() |

問37 症状が安定して退院に向けた治療やリハビリを行う際には、
あなたはどの地域の医療機関に入院したいですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 市内の医療機関 | 2. 市外の医療機関 |
| 3. 実際の症状によってその時考える | 4. その他() |

問38 長期にわたっての療養が必要になった際には、
あなたはどの地域の医療機関に入院したいですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 市内の医療機関 | 2. 市外の医療機関 |
| 3. 実際の症状によってその時考える | 4. その他() |

かかりつけ医についてお聞きします。

問39 あなたは、ご自身のかかりつけ医を決めていますか。
(1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 決めている |
| 2. 「この病気ならこの先生」という意味では決めている |
| 3. 決めていない |
| 4. 決めていないが、いると良いと思う |

19ページ
問44へ

問40 問39で「1」「2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
かかりつけ医はどの地域の医療機関の方ですか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|-------|---------------|--------|
| 1. 高梁 | 2. 高梁北 | 3. 高梁東 |
| 4. 有漢 | 5. 成羽 | 6. 川上 |
| 7. 備中 | 8. 市外(市町村名:) | |

※ 高梁、高梁北、高梁東の地域区分は下記のとおりです。

- ・高梁：旧高梁、松原町、落合町、玉川町、高倉町大瀬八長、高倉町田井(高山)
- ・高梁北：川面町、中井町、宇治町、高倉町田井(肉谷・高山除く)、高倉町飯部
- ・高梁東：津川町、巨瀬町、高倉町田井(肉谷)

次ページ
問41へ

問41 問39で「1」「2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
そのかかりつけ医を選んだ理由は何ですか。(3つまで)

1. 自宅から近いので
2. 適切な検査・診療をもらえるので
3. 診療の待ち時間が短いので
4. 必要に応じて、高度な医療を受けられる医療機関を紹介してもらえるので
5. 評判が良いので
6. 安心・信頼できるので
7. 以前受診したことがあるので
8. なんとなく
9. その他 ()

問42 問39で「1」「2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
かかりつけ医について満足している点は何ですか。(3つまで)

1. どんな病気でもまず診てくれる
2. 親身になって対応してくれる
3. 診療技術が優れている
4. 病気や治療についての説明が丁寧である
5. 自分の病歴や健康状態についてよく理解してくれている
6. 自分だけでなく家族の病歴や健康状態についてもよく理解してくれている
7. 必要に応じてすぐに専門医を紹介してくれる
8. 紹介先に適切に自分の診療情報を連携してくれる
9. 生活習慣病などの予防に向けたアドバイスをしてくれる
10. 定期健診や検診をしてくれる
11. 往診や訪問診療などの在宅医療に対応してくれる
12. 夜間や休日にも診察してくれる
13. 夜間や休日にも電話相談に対応してくれる
14. 最期の看取りまで対応してくれる
15. こころの病気の相談に乗ってくれる
16. 特になし

→ 次ページ
問43へ

問43 問39で「1」「2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
かかりつけ医について改善してほしい点は何ですか。(3つまで)

1. どんな病気でもまず診てほしい
2. 親身になって対応してほしい
3. 診療技術を向上させてほしい
4. 病気や治療について丁寧に説明してほしい
5. 自分の病歴や健康状態についてもっと理解してほしい
6. 自分だけでなく家族の病歴や健康状態についてももっと理解してほしい
7. 必要に応じてすぐに専門医を紹介してほしい
8. 紹介先に適切に自分の診療情報を連携してほしい
9. 生活習慣病などの予防に向けたアドバイスをしてほしい
10. 定期健診や検診をしてほしい
11. 往診や訪問診療などの在宅医療に対応してほしい
12. 夜間や休日にも診察してほしい
13. 夜間や休日にも電話相談に対応してほしい
14. 最期の看取りまで対応してほしい
15. こころの病気の相談に乗ってほしい
16. 特になし

→ 次ページ
問44へ

在宅医療についてお聞きします。

問44 自宅で家族・親族を介護した経験や、看取った経験はありますか。
(1つに〇)

1. 介護も看取りも経験がある
2. 介護は経験があるが、看取りは経験がない
3. 介護は経験がないが、看取りは経験がある
4. 介護も看取りも経験がない

問45 自宅での介護や看病において不満を感じたこと、または、そのような状況を想定した場合に不安を感じることを教えてください。
(3つまで〇)

1. 介護疲れや看病疲れによって、自身も体調を崩してしまうこと
2. 看取りの後、精神的に不調になること
3. 医師のサポートが不十分であること
4. 看護師のサポートが不十分であること
5. 介護職(ケアマネや介護福祉士など)のサポートが不十分であること
6. 医師・看護師・介護職以外の専門職のサポートが不十分であること
7. 自身の仕事が制約されることで、収入が減るなどの経済的負担が生じること
8. その他()

問46 自宅での介護や看病において、サポートを受けられて良かった、またはサポートを受けたいものを教えてください。(2つまで〇)

1. 短期入院や短期入所等による、看病を休息する機会の確保
2. 自身の心のケア
3. 相談できる専門医の存在
4. その他()

終末期医療についてお聞きします。

※「終末期医療」とは、死期が近づいたときの医療のことです。

問47 終末期医療について、あなたの希望を教えてください。(1つに〇)

1. できる限り積極的な延命処置を受けたい
2. 痛みの緩和や精神的援助を受けながら自然な看取りをしてほしい
3. わからない

問48 最期を迎える場所について、あなたの希望を教えてください。
(1つに〇)

1. 病院
2. 自宅
3. 入所している施設
4. わからない

問49 最期を迎えるにあたって、大切だと思うことは何ですか。(1つに〇)

1. 納得できる場所で最期を迎えること
2. 治療の方針について、家族とよく話し合うこと
3. 家族の肉体的・精神的な負担や不安を軽減すること
4. 家族の経済的な負担や不安を軽減すること
5. その他()

問50 エンディングノート(遺書や遺言とは別に、最期を迎える場所や看取りに関して自分の希望を書き留めたもの)を作成したいと思いますか。
(1つに〇)

1. すでに作成している
2. 作成していないが、いずれ作成したい
3. 作成したいとは思わない
4. どちらともいえない
5. エンディングノートを知らなかった

高梁市内の医療提供体制についてお聞きします。

問51 現在の高梁市内の医療に関する総合的な満足度を教えてください。
(1つに〇)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | 3. どちらでもない |
| 4. やや不満 | 5. とても不満 | |

問52 診療日数や医療機関数について、市内で充実してほしい診療科を教えてください。(3つまで〇)

- | | | |
|-------------|---------|-----------|
| 1. 内科系 | 2. 外科系 | 3. 整形外科系 |
| 4. 産婦人科系 | 5. 小児科系 | 6. 耳鼻咽喉科系 |
| 7. 皮膚・泌尿器科系 | 8. 精神科系 | 9. 特にない |
| 10. その他 () | | |

問53 市内の公立診療所について、あなたの考えに近いものを選んでください。(1つに〇)

※ 市内の公立診療所：有漢診療所、宇治診療所、川上診療所、田原診療所、中井診療所、西山診療所、備中診療所、平川診療所、吹屋診療所、松原診療所、湯野診療所

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 患者の出入りは多いと思うし、実際に自分もよく利用している |
| 2. 患者の出入りは多いと思うが、自分はあまり利用していない |
| 3. あまり患者が出入りしていないが、自分はよく利用している |
| 4. あまり患者が出入りしていないし、自分もほとんど利用していない |
| 5. 利用しないのでわからない |

次ページ
問56へ

問54 問53で「1」「3」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
公立診療所をよく利用する理由を教えてください。
(あてはまるもの全てに〇)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 自宅から近いので | 2. 診療日や診療時間がちょうど良いので |
| 3. 十分な医療を受けられるので | 4. 他の医療機関に通うのが困難なので |
| 5. その他 () | |

問55 問53で「3」「4」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
公立診療所の利用率が低い原因は何だと思えますか。(1つに〇)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 交通アクセスが悪いので | 2. 診療日や診療時間が少ないので |
| 3. 受けられる医療が限られているので | 4. 他の医療機関の方が良いので |
| 5. その他 () | |

次ページ
問56へ

問56 10年後といった近い将来の高梁市内の医療について、あなたのお気持ちを教えてください。(1つに〇)

1. 全く心配していない
2. あまり心配していない
3. どちらとも言えない
4. 不安である
5. 非常に不安である

次ページ
問58へ

問57 問56で「4」「5」を選んだ方にお聞きします。将来の高梁市内の医療について、何が不安ですか。(3つまで〇)

1. 医療機関への交通手段
2. 急病時にすぐ診てくれる医師がいるか
3. 重い病気をしたときに診てくれる医師がいるか
4. 近隣の医療機関が廃業・撤退してしまわないか
5. 分娩施設がないため、安心して出産ができない
6. 子どもが適切な医療を受けられるか
7. 医療従事者が高齢化しており、地域医療が維持できないのではないか
8. 自身が希望する場所で最期を迎えられないのではないか
9. はっきりとは分からないが、不安を感じる
10. その他 ()

次ページ
問58へ

問58 高梁市は地域医療の維持に危機感を持ち、医療計画を策定しようとしています。このことについてあなたのお考えを教えてください。(1つに〇)

1. 遅すぎるくらいであり、急いで取り組むべきだと思う
2. いま取り組むべき課題だと思う
3. 他にも課題はあるが、医療についても取り組むべきだと思う
4. わからない
5. 他に優先して取り組むべきことがあると思う
(具体例:)

問59 高梁市の医療に関連するテーマのうち、特に重要だと思うものを教えてください。(1つに〇)

1. 市内の医療機関が連携し、市内のどこに住んでいても日常の医療を適切に受けられること
2. 医師や看護師などを確保し、地域の医療を維持・持続すること
3. 産科や小児科などの子育てに欠かせない医療を整え、幅広い世代にまちの魅力を高めること
4. 介護や福祉と連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えること
5. その他 ()

問60 高梁市内の医療について、今後どのような対策を充実させるべきだと思いますか。(3つまで)

1. 日常的な医療
(風邪や外傷等、日常的な傷病への対応等)
2. 初期救急医療
(突然の事故や発病のうち、入院や手術が不要なものへの医療)
3. 二次救急医療
(突然の事故や発病のうち、入院や手術が必要なものへの医療)
4. 医療機関の連携
(紹介の時のカルテ情報の提携等)
5. 医師・看護師の育成と確保
(働き方改革による能率改善や、新規人材の採用強化等)
6. 専門家同士の職種を超えた連携
(医療、介護、福祉等の専門家が連携して患者を支える仕組み等)
7. 医療に関する情報提供
(休診日・診療時間の公開や、医療相談の対応等)
8. 安心して出産できるサポート体制
(妊婦搬送体制の整備や、産婦人科など分娩可能な施設の復活等)
9. 患者の家族に対するサポート
(病気や治療の情報提供や、患者家族の負担の軽減支援等)
10. 行政の効率化と無駄の排除
(利用実績の低調な診療所などの選定見直し等)

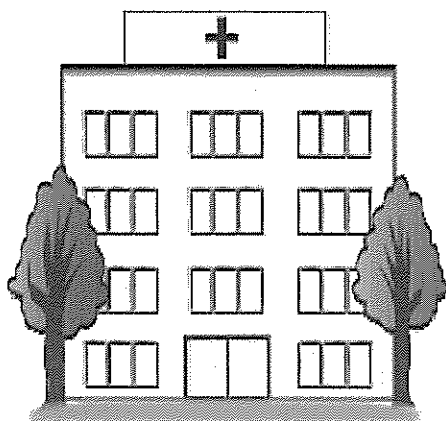
問61 高梁市内の専門的な医療について、今後どのような対策を充実させるべきだと思いますか。(3つまで)

1. 三次救急医療
(生命に関わる重症患者に専門医が集中治療を行う体制整備等)
2. 災害医療
(災害時に限られた医療資源を最大限活用するための体制整備等)
3. へき地医療
(過疎が進み、容易に医療機関を利用できない地域における医療の確保等)
4. 周産期医療
(妊娠後期から出産後まで、母体・胎児・新生児への医療の確保等)
5. 小児医療
(夜間の小児救急医療を含む、小児科の医療の充実等)
6. 在宅医療
(自宅や入居施設への訪問診療や往診体制の整備等)
7. がんの専門的な医療体制
(早期発見、治療に向けた連携体制の構築、家族・患者支援等)
8. 脳卒中の専門的な医療体制
(脳卒中患者の救護・救急体制の整備等)
9. 急性心筋梗塞の専門的な医療体制
(急性心筋梗塞患者の救護・救急体制の整備等)
10. 糖尿病の専門的な医療体制
(糖尿病の総合管理や専門的治療を行う体制の整備)
11. 精神疾患の専門的な医療体制
(精神疾患患者の退院支援、地域での就労支援、認知症対策等)

問62 高梁市の地域医療に関して、ご意見やご要望がございましたら
ご記入ください。

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

鶴岡地区病院調査(6病院)



令和2年11月13日

鶴岡市地域医療を考える市民委員会

鶴岡地区病院調査 回答票

病 院 名 鶴岡市立荘内病院

回 答 者 部署名 総務課 氏名

連絡先(TEL) 26-5111

回答日 令和 2年 11月 6日

データの基準日 令和 2年 4月 1日 現在 (年間の実績は令和元年度の1年間)

許可病床数	521	稼働病床数	521 床				
医師数 (4/1現在)	常勤医師	62	名	平均年齢	44.3 歳		
	非常勤医師	3	名	平均年齢	57.0 歳		
	派遣医師	97	名	平均年齢	42.8 歳		
	研修医数	10	名	平均年齢	26.9 歳		
	合計	172	名	平均年齢	42.7 歳		
看護師数 (4/1現在)	正看	446名	(常勤のみ、助産師・保健師含む)				
	准看	0名					
外 来	年間患者総数	H29	169,280人	H30	168,262人	R1	167,060人
	1日平均患者数	H29	693.8人	H30	689.6人	R1	693.2人
入 院	年間患者総数	H29	158,848人	H30	155,397人	R1	143,775人
	1日平均患者数	H29	435.2人	H30	425.7人	R1	392.8人
平均在院日数	病院全体	H29	14.2日	H30	14.2日	R1	13.1日
	脳神経外科	H29	17.7日	H30	15.5日	R1	18.1日
	神経内科	H29	18.8日	H30	21.3日	R1	20.0日
病床利用率	H29	85.2%	H30	83.3%	R1	76.9%	
救 急	搬送件数	H29	4,423件	H30	4,546件	R1	4,259件
	搬送人数	H29	4,423人	H30	4,546人	R1	4,259人
紹介率	H29	80.0%	H30	78.3%	R1	78.5%	
逆紹介率	H29	98.4%	H30	99.1%	R1	99.3%	

鶴岡地区病院調査 回答票

病 院 名 鶴岡協立病院

回 答 者 部署名 地域医療連携室 氏名

連絡先(TEL) 23-6115

回答日 令和 2年 10月 30日

データの基準日 令和 2年 4月 1日 現在 (年間の実績は令和元年度の1年間)

許可病床数	199 床	稼働病床数	140 床		
医師数 (4/1現在)	常勤医師	7 名	平均年齢	59.3	歳
	非常勤医師	24 名	平均年齢	48.5	歳
	派遣医師	名	平均年齢		歳
	研修医数	名	平均年齢		歳
	合計	31 名	平均年齢	50.9	歳
看護師数 (4/1現在)	正看	90 名	(常勤のみ、助産師・保健師含む)		
	准看	32 名			
外 来	年間患者総数	H29 59,237人	H30 67,680人	R1 67,595人	
	1日平均患者数	H29 243.2人	H30 267.7人	R1 267.6人	
入 院	年間患者総数	H29 63,076人	H30 65,459人	R1 64,882人	
	1日平均患者数	H29 172.8人	H30 179.3人	R1 177.8人	
平均在院日数	病院全体	H29 20.2日	H30 24.5日	R1 21.8日	
	脳神経外科	H29 日	H30 日	R1 日	
	神経内科	H29 日	H30 日	R1 日	
病床利用率	H29 97.9%	H30 100.4%	R1 99.1%		
救 急	搬送件数	H29 473件	H30 517件	R1 579件	
	搬送人数	H29 473人	H30 517人	R1 579人	
紹介率	H29 16.3%	H30 20.3%	R1 20.0%		
逆紹介率	H29 16.3%	H30 19.1%	R1 18.3%		

鶴岡地区病院調査 回答票

病 院 名 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

回 答 者 部署名 総務課 氏名

連絡先(TEL) 0235-38-5151

回答日 令和 2年 11月 4日

データの基準日 令和 2年 4月 1日 現在 (年間の実績は令和元年度の1年間)

許可病床数	120	稼働病床数	120 床				
医師数 (4/1現在)	常勤医師	3	名	平均年齢	66.3 歳		
	非常勤医師	7	名	平均年齢	52.4 歳		
	派遣医師		名	平均年齢	歳		
	研修医数		名	平均年齢	歳		
	合計	10	名	平均年齢	歳		
看護師数 (4/1現在)	正看	47	名	(常勤のみ、助産師・保健師含む)			
	准看	14	名				
外 来	年間患者総数	H29	101人	H30	195人	R1	154人
	1日平均患者数	H29	0.4人	H30	0.8人	R1	0.6人
入 院	年間患者総数	H29	38,728人	H30	38,363人	R1	37,357人
	1日平均患者数	H29	106.1人	H30	105.1人	R1	102.1人
平均在院日数	病院全体	H29	88.8日	H30	59.0日	R1	82.1日
	脳神経外科	H29	日	H30	日	R1	日
	神経内科	H29	日	H30	日	R1	日
病床利用率	H29	88.4%	H30	87.6%	R1	85.1%	
救 急	搬送件数	H29	29件	H30	23件	R1	29件
	搬送人数	H29	29人	H30	23人	R1	29人
紹介率	H29	96.3%	H30	97.8%	R1	96.8%	
逆紹介率	H29	%	H30	%	R1	79.4%	

* H29.H30年度の逆紹介率は包括分の診療情報提供料の算定件数が出せなかったため、算出できませんでした。

鶴岡地区病院調査 回答票

病 院 名 鶴岡協立リハビリテーション病院

回 答 者 部署名 事務長室 氏名

連絡先(TEL) 0235-78-7511

回答日 令和 2年 11月 4日

データの基準日 令和 2年 4月 1日 現在 (年間の実績は令和元年度の1年間)

許可病床数	156 床	稼働病床数	138 床		
医師数 (4/1現在)	常勤医師	4 名	平均年齢	59.8	歳
	非常勤医師		平均年齢		歳
	派遣医師		平均年齢		歳
	研修医数	1 名	平均年齢	30	歳
	合計	5 名	平均年齢	53.8	歳
看護師数 (4/1現在)	正看	45 名	(常勤のみ、助産師・保健師含む)		
	准看	12 名			
外 来	年間患者総数	H29 11,305人	H30 11,425人	R1 11,567人	
	1日平均患者数	H29 46.4人	H30 47人	R1 47.5人	
入 院	年間患者総数	H29 49,947人	H30 52,049人	R1 52,943人	
	1日平均患者数	H29 136.8人	H30 142.6人	R1 144.7人	
平均在院日数	病院全体	H29 99.8日	H30 106.3日	R1 104.0日	
	脳神経外科	H29 日	H30 日	R1 日	
	神経内科	H29 日	H30 日	R1 日	
病床利用率	H29 87.70%	H30 91.40%	R1 92.70%		
救 急	搬送件数	H29 0件	H30 0件	R1 0件	
	搬送人数	H29 0人	H30 0人	R1 0人	
紹介率	H29 %	H30 %	R1 %		
逆紹介率	H29 %	H30 %	R1 %		

鶴岡地区病院調査 回答票

病 院 名 産婦人科・小児科三井病院

回 答 者 部署名 事務長 氏名

連絡先(TEL) 0235 (22) 3290

回答日 令和 2年 11月 4日

データの基準日 令和 2年 4月 1日 現在 (年間の実績は令和元年度の1年間)

許可病床数	41 床	稼働病床数	41 床		
医師数 (4/1現在)	常勤医師	2 名	平均年齢	51 歳	
	非常勤医師	3 名	平均年齢	45 歳	
	派遣医師	名	平均年齢	歳	
	研修医数	名	平均年齢	歳	
	合計	5 名	平均年齢	47.4 歳	
看護師数 (4/1現在)	正看	24 名	(常勤のみ、助産師・保健師含む)		
	准看	7 名			
外 来	年間患者総数	H29 30,774人	H30 31,449人	R1 30,519人	
	1日平均患者数	H29 105.8人	H30 108.4人	R1 105.2人	
入 院	年間患者総数	H29 8,402人	H30 8,685人	R1 8,302人	
	1日平均患者数	H29 23人	H30 24人	R1 23人	
平均在院日数	病院全体	H29 6日	H30 6日	R1 6日	
	脳神経外科	H29 日	H30 日	R1 日	
	神経内科	H29 日	H30 日	R1 日	
病床利用率	H29 56%	H30 59%	R1 56%		
救 急	搬送件数	H29 2件	H30 4件	R1 0件	
	搬送人数	H29 2人	H30 4人	R1 0人	
紹介率	H29 5.5%	H30 6.7%	R1 9.2%		
逆紹介率	H29 7.7%	H30 8.1%	R1 7.7%		

鶴岡地区病院調査 回答票

病院名 山形県立こころの医療センター

回答者 部署名 総務経営課 氏名

連絡先(TEL) 0235 (64) 8100

回答日 令和 2年 11月 2日

データの基準日 令和 2年 4月 1日 現在 (年間の実績は令和元年度の1年間)

許可病床数	214 床	稼働病床数	213 床			
医師数 (4/1現在)	常勤医師	11 名	平均年齢	40.5	歳	
	非常勤医師	1 名	平均年齢	40	歳	
	派遣医師	名	平均年齢		歳	
	研修医数	1 名	平均年齢	28	歳	
	合計	13 名	平均年齢	39.5	歳	
看護師数 (4/1現在)	正看	137 名	(常勤のみ、助産師・保健師含む)			
	准看	0 名				
外 来	年間患者総数	H29 30,623人	H30 33,783人	R1 33,866人		
	1日平均患者数	H29 125.0人	H30 137.9人	R1 139.4人		
入 院	年間患者総数	H29 69,477人	H30 71,418人	R1 70,860人		
	1日平均患者数	H29 190.3人	H30 195.7人	R1 193.6人		
平均在院日数	病院全体	H29 136.0日	H30 117.4日	R1 130.9日		
	脳神経外科	H29 日	H30 日	R1 日		
	神経内科	H29 日	H30 日	R1 日		
病床利用率	H29 90.0%	H30 92.6%	R1 91.6%			
救 急	搬送件数	H29 1件	H30 23件	R1 12件		
	搬送人数	H29 1人	H30 23人	R1 12人		
紹介率	H29 32.7%	H30 38.1%	R1 41.3%			
逆紹介率	H29 36.5%	H30 39.9%	R1 46.6%			

資料 9

①鶴岡地区医師会会員 開業医の診療科ごとの年代構成

【2020.04.15鶴岡地区医師会提供資料】

(単位:人)

	内科	小児科	泌尿器科	外科	整形外科	眼科	耳鼻 咽喉科	皮膚科	脳外科	放射線科	産婦人科	心療内科 精神科	計
40～44	5	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	9
45～49	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	5
50～54	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
55～59	2	1	0	0	3	1	1	1	0	1	0	0	10
60～64	12	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	17
65～69	7	0	0	0	3	1	1	0	0	0	1	0	13
70～74	11	1	0	2	2	1	1	1	0	0	1	2	22
75～79	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
80～84	4	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	6
85～89	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	46	4	2	3	11	5	4	7	1	1	2	5	91

※鶴岡地区医師会の会員総数 177人 2020.4.1現在

※本データは、上記総数から病院勤務医、施設関係の医師、ほか自宅会員等を除く91人を対象としたデータである。

※この91人の平均年齢は63.0歳である。

②鶴岡地区医師会会員 開業医の診療科ごとの鶴岡地域・他地域別年代構成

【2020.04.15鶴岡地区医師会提供資料】

(単位:人)

	内科		小児科		泌尿器科		外科		整形外科		眼科		耳鼻咽喉科		皮膚科		脳外科		放射線科		産婦人科		心療内科 精神科		計		
	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	鶴岡地域	他地域	
40~44	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9	0
45~49	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	1	
50~54	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	
55~59	1	1	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	1	
60~64	9	3	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	13	4	
65~69	5	2	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11	2	
70~74	7	4	1	0	0	0	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	18	4
75~79	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
80~84	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	
85~89	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
計	32	14	4	0	2	0	3	0	10	1	5	0	4	0	7	0	1	0	1	0	2	0	5	0	76	15	

検討するテーマ・市民とともに作り上げる地域医療

令和元年度（年2回 12月、3月に開催）

第1回開催

「市民委員会の主旨説明とスケジュールの確認」
（地域医療に関する委員のディスカッション）

第2回開催

「地域医療における
荘内病院のあり方」
（開かれた病院の実現、患者満足度の向上）

地域医療の目指す姿

- 市民自身が自分の健康を守り、また地域医療を守り、そして医療機関と、こころ通いあう地域医療を実現する
- 地域の基幹病院である荘内病院が、急性期病院としての使命を果たし、他の関係機関と連携を図りながら、地域医療を進める

令和2年度（年4回 7月、11月、1月、3月に開催）

第3回開催

「コロナ禍における
地域医療と市民行動について考える」
（第2波、第3波に備えて）

第4回開催

「地域医療の市民
への理解と普及」
（市民への積極的な情報発信と医療ニーズの把握）

在宅医療と介護連携の強化

第5回開催

「市民勉強会のあり方を考える」
（市民公開ワークショップも含め、開催に向けての運営方法等の検討）

第6回開催

「市民公開ワークショップの開催」
（地域医療の理解と普及を目指して）

令和3年度（年4回 5月、8月、11月、2月に開催）

「市民アクションプラン」の策定

（地域医療を守るために市民ができることを掲げる）

「市民勉強会」の開催

（市民委員が核となり、地域医療の理解と普及に取り組む）

市民発

これまで6回の市民委員会
会で出た意見をもとに

